

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866
 FAX: 0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org

第2832回例会 七夕例会

2015年7月24日(金) 12:30~13:30

司会者：中村 浩一君

ソング：「いざ友よ」「四つのテスト」

ゲスト及びビジター

七夕親善大使 イチカワ サキ イワツキ ミ オ ノダ マリイ
 市川 沙季様・岩月 美緒様・野田 万里伊様
 協会役員 シラヤ タカコ ヤマト カズロ
 白谷 隆子様・山本 和裕様
 事務局 スギヤマ マサチカ イナガキ ソウイチ
 杉山 正真様・稲垣 創一様



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度RIテーマ：

「世界へのプレゼントになろう」

安城ロータリークラブ会長方針：

「原点に帰ろう

～BACK TO THE STARTING TO POINT～」

- 会長：神谷 明文
- 幹事：寺田 孝司
- クラブ会報：奥嶋正衛・恒川憲一・小野田真代
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日

■ 会長挨拶

神谷 明文会長

芭蕉の七夕俳句を紹介します。

芭蕉は毎年のように七夕俳句を作っていたようです。全部で10首ありました。

最初の4つは未だ蕉風が確立されていない時期のもので軽い感じです。これなら自分も出来そうだという人もいるかもしれません。5番目は連歌の発句として作られたもので、あとの七七をつけやすいようなものです。「荒海や」の句はやはり素晴らしい。これは天才のなせるところで、余人の追隨を許しません。芭蕉が宇宙に出て、上から天の川を見ている感じがします。

-芭蕉の七夕俳句

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 七夕のあはぬころや雨中天 | (24歳) |
| 2 秋きぬと妻こう星や鹿の革 | (35歳) |
| 3 水学も乗物かさんあまの川 | (35歳) |
| 4 さぞな星ひじき物には鹿の革 | (30~37歳) |
| 5 文月や六日も常の夜には似ず | (46歳・奥のほそ道 元禄2年) |
| 6 荒海や佐渡によこたふ天河 | (同上) |
| 7 合飲の木の葉ごしもいとへ星のかげ | (47歳) |
| 8 七株の萩の千本や星の秋 | (49歳) |
| 9 高水に星も旅寝や岩の上 | (50歳) |
| 10 七夕や秋を定むるはじめの夜 | (51歳 元禄7年) この年の立秋は6月16日 |



■ 幹事報告

寺田 孝司幹事

- 7/31(金)は7/30(木)に例会変更いたします。当日は100%例会です。
- 10/31-11/1開催されます地区大会の案内を配布いたします。
 例年通り、出席義務者につきましては、登録料はクラブ負担といたします。

■ 出席報告

大坪 久乃さん

会員	60名
出席義務者	46名
出席	41名
欠席	5名
出席免除者の出席	13名
出席率	91.52%
修正出席率	7月10日 第2830例会 93.33%

■ ニコボックス報告

山口 佳久君



【7月のクラブ内例会・委員会予定】

31日→30日(木) 例会変更いたします。

卓話担当 神谷研君

卓話者 吉田光範(よしだみつのり)様 (株)ヨシダサッカースクール代表取締役 サッカー元日本代表

テーマ「サッカーを通じての地域貢献」

* 青少年交換学生来訪

《7月の行事予定・地区会議》

23-31 第28回IAC海外派遣研修 オーストラリア・パース

24(金) 第1回地区社会奉仕委員会 15:00～ガバナー事務所

30(木) 安城七親会打ち合わせ 18:30～川本

■ 第26回インターアクトクラブ年次大会

第2760地区インターアクト委員会 委員 奥田 法行君

テーマ『BREAK DOWN THE CULTURAL BARRIERS』

～虹をかけよう～

国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ年次大会が、千種高等学校インターアクトクラブ(名古屋名東RC)ホストのもと名古屋国際会議場で開催されました。(インターアクトクラブ17校・生徒、先生、ロータリアン総勢657名の参加)開会式は、千種高等学校IAC川合会長の点鐘で始まり、川合会長の歓迎の言葉、名古屋名東RC都築会長の歓迎の挨拶、加藤ガバナー挨拶、千種高等学校岩本校長の挨拶をいただきました。

記念講演では、千種高校国際教養科第1回卒業生の後藤千枝氏による「私の考える国際理解・国際協力」～世界68か国訪問、ボランティア活動などを通じて感じたこと～題して後藤さんの体験談を交えたユニークな卓話を拝聴いたしました。内容は、中学生の時に応募した懸賞論文「世界平和実現のために」が金賞を受賞して日本代表として、また世界最年少者としてバチカン市国で開催された「世界平和会議」に出席、ローマ法王謁見。ローマ法王2世に出会った話、卒業後、アフリカのケニア、ニャンゴロ州コゲロ村でオバマ大統領の祖母にあってオバマ大統領の父をアメリカに送りだすためグリーンラム(緑豆)を売ってお金を稼いだ話等、夢を叶えるために色々な仕事を伺った様子をお聞きました。

今、貧困の現場で何が必要とされているかを知ることは、まず相手の国を理解することから始まる。困っている人たちに直接届く支援がしたいと、世界68か国でのボランティア活動されてきました。又、東日本大震災復興支援に関する講演も多数行ってきた。大学生企画、運営による国際交流・国際協力を基板とした異文化相互理解団体「日本インド学生会議」、「日本ケニア学生会議」の創設者でもあります。「人と人はよりよい社会・世界・未来を一緒に築き上げるために出逢う、Let's Take Action Together」が後藤さんのモットーだそうです。マザーテレサにあって、マザーテレサは戦争に反対の集会には参加しません。平和のための集会には参加します。と言われたのをよく考えてください。否定する考え方より、肯定する考え方を選らんだそうです。みなさんはどうですか？

今回の年次大会では各インターアクトクラブが日頃の活動成果を8分の持ち時間で発表をしました。安城学園高等学校IACは15校目の発表となり、安城学園IACのボランティア活動(アフガニスタン)の報告発表がありました。内容は2002年5月26日アフガニスタンの病院にベットを送ったこと。安城更生病院の新築移転に伴い病院用ベット110床を送った写真やIAC顧問の岡山先生が現地でベットの使用説明している写真等がスライドで紹介されました。又当時のアフガンでは、女性は勉強をしてはいけない時代だったそうです。当時のタリバン政権は監視がきつかったため、女性の勉強は秘密学校で行われていたそうです。ちなみに、見つかると2回目まではムチ打ち、3回目は死刑が下されたそうです。勉強がばれたら死刑なんてありえませんね。どんな国でも女性の教育が欠かせないということで、安城学園IACは2004年8月に学校に机を送ろうと次のボランティア活動をスタートすることにしました。安城南中学校、安城桜林小学校の机・椅子を300セット贈ること(安城RC協力のもと)。学校から机・椅子を搬出してコンテナに積み込む作業を手伝いました。送り先はアフガンのウミード(アフガン語で希望)でした。女性の教育と自立支援の施設に届いた際はアフガニスタン奥田大使が開校式であいさつされました。全国から集まった文房具が実際アフガンで配られている写真も紹介されました。ウミードで勉強していた学生マリムさんが2006年4月7日に留学生として安城学園高等学校に入学しました。昨年は2人目の留学生ロヤ・アジミさんが入学しました。安城七夕まつりへの参加をして、日本で平和を噛みしめる彼女の姿は、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の4社に掲載されました。学園祭では、アフガニスタンコーナーを設けて、募金活動を行い、市内の小・中学校でアフガンの国の紹介をしました。安城学園IACはこれからもアフガン復興支援をつづけます…。安城学園高等学校IACは国際色豊かなプレゼンとなりました。



◆ 七夕例会

- ・七夕親善大使 : ^{イチカワ}市川 ^{サキ}沙季様・^{イツキ}岩月 ^{ミオ}美緒様・^ダ野田 ^{マリイ}万里伊様
- ・協会役員 : ^{シヤヤ}白谷 ^{タカコ}隆子様・^{ヤマモト}山本 ^{カズヒロ}和裕様
- ・事務局 : ^{ヨシダ}吉田 ^{ヒサン}央様・^{イナガキ}稲垣 ^{ソウイチ}創一様

